

テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

上川管内 富良野市立樹海学校

■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むことをねらいとして、アイヌ教育相談員を講師に体験活動を行いながらアイヌの人たちの歴史・文化等について学ぶ時間を設定しました。また、児童が日常的にアイヌの人たちの文化に触れることができるように、アイヌの人たちの文化に関連する図書コーナーを図書館に設置しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

社会科でアイヌの人たちの暮らしや文化を学習し、ムックリやトンコリの演奏動画を視聴したことで、児童のアイヌの人たちの文化への興味・関心が高まり、「アイヌの人たちの文化を知ろう」という課題の設定につながりました。



【図書コーナー】

(2) 情報の収集

課題解決に向けて、図書館や iPad を利用してムックリやトンコリなどの楽器だけでなく、アイヌの人たちの物語や文化について情報を収集したことで、新たな疑問をもち、学習に対する意欲が高まりました。



【アイヌ教育相談員による講話】

アイヌ教育相談員の講話を通し、アイヌ語の地名や身近な言葉、衣食住、踊り、音楽、物語などの情報を収集し、アイヌの人たちの文化への理解を深めました。ムックリの制作・演奏体験を通し、アイヌの人たちの文化の素晴らしさを感じることができました。

(3) 整理・分析

講話や体験活動を通して収集した情報を整理し、新聞にまとめる活動を通してアイヌの人たちの伝統や自然との関わり、アイヌ語が自分たちの生活に関わっていることなどに気付きました。



【ムックリ制作体験】

(4) まとめ・表現

学習内容をまとめた新聞を掲示し、他学年や保護者に見てもらいました。また、振り返りを行うことで、ふるさとの魅力を感じ取り、北海道のいろいろな地域について調べたいという探究への意欲が高まりました。

②児童の感想等

- ・初めて知ったことがたくさんあり、アイヌの人たちの生活や物語について調べたいと思いました。
- ・アイヌの人たちが自然の物をたくさん利用していてすごいと思いました。
- ・舞の映像ではいろいろなものが出てきて面白かったので、今度は本物を見に行きたいと思いました。

■取組の成果（○）と課題（●）

- アイヌの人たちの歴史・文化等についてのアンケートでは、関心がなかった児童の学習意欲の高まりが見られました。アイヌ教育相談員の講話を聞くことで、身近なことだけでなく「アイヌの人たちの物語」について調べたいという考えに変わり、関心の幅の広がりが見られました。
- 楽器作り、演奏体験を通し、映像だけでは得られない本物の素晴らしさに触れることができました。アイヌ教育相談員から演奏のコツを聞き、何度も練習して児童自身が難しさを体感し、演奏している人々を称賛する感想をもつことができました。「もっと演奏したい。」「本当に演奏するところを見たい。」とアイヌの人たちの文化に対する興味・関心が高まりました。
- 体験活動等を位置付けたり、探究の過程を充実させたりするための教育課程をより工夫する必要があります。